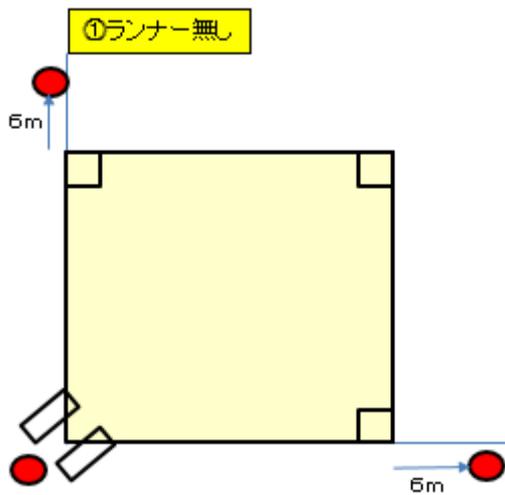


3人制の審判の場合の塁審のポジショニング

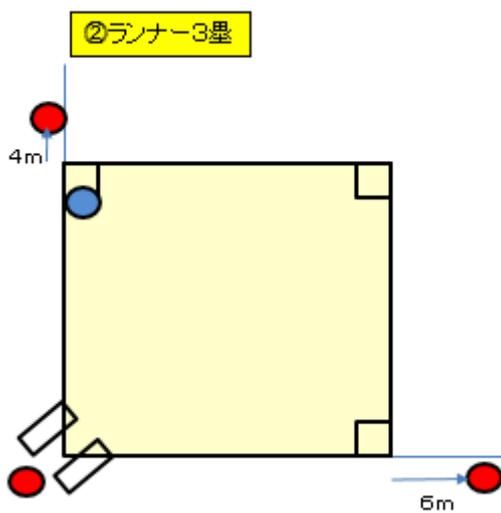
①ランナー無しの場合

- ・ 1塁審と3塁審は、ダイヤモンドの外（ファールグラウンド）、ベースより5～7mのあたりにポジショニングします。こちらは4人制と同じです。



②ランナー3塁の場合

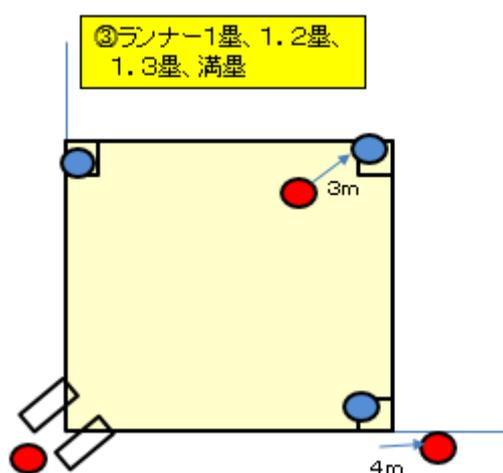
- ・ 3塁審は、ランナーへの牽制に備え、少し3塁ベースに近づきます。



③ランナー1塁、1.2塁、1.3塁、満塁の場合

※1塁にランナーがいる場合。

- ・ 1塁塁審は少しベースに近づき（ベース 後方4 mくらい）投手の動作が見通せる場所に位置します。体と目線は投手の方向に向け、走者のけん制やボークの判定に備えます。
- ・ 3塁塁審は内野に入り、3塁寄りのセカンドベースくらいで野手の守備の妨げにならない場所に位置します。ここで投手のけん制動作などを注視します。



- ・ ランナー1塁、1・2塁、1・3塁、満塁の場合、1塁塁審は**一塁後方のファウルラインの外側**に位置し、**3塁塁審は内野フィールドの2・3塁間**に位置します。
（1塁ランナーの2塁盗塁については3塁塁審が対応します）
- ・ ランナー2塁、2・3塁の場合、1塁塁審は**内野フィールドの1・2塁間**に位置し、3塁塁審は**3塁後方のファウルラインの外側**に位置します。（2塁ランナーの3塁盗塁については3塁塁審が対応します）
- ・ ランナー3塁、及びランナー無しの場合は、1塁塁審は**1塁後方のファウルライン外側**に位置し、3塁塁審は**3塁後方のファウルライン外側**に位置します。

○三人制審判の位置と動き



三塁審判は、走者無し、走者三塁、ノーアウト・ワンアウトのときの走者二塁あるいは走者二塁三塁の場合に、三塁ベース後方に位置する。三塁盗塁・三塁のフォースプレーがあるのでしっかり判定してください。



三塁審判は、走者一塁、走者一塁二塁、走者一塁三塁、満塁、ツーアウトのときの走者二塁あるいは走者二塁三塁の場合に、ショート寄りの二塁ベース近くに位置する。二塁と三塁の両方を判定する。二塁盗塁・三塁盗塁・二塁のフォースプレーがあるのでしっかり判定してください。



ノーアウト・ワンアウトで走者一二塁のとき、三塁審判は三塁ベース後方へ戻り、一塁審判は投手と二塁の間へ位置する。捕手からの二塁送球の邪魔にならない位置を取りましょう。



一塁審判は、二三塁間に内野ゴロが飛んだら（赤破線）一塁の守備と走者の両方を見やすい位置へ素早く移動しセットポジションをとる（赤実線）。